
赤 潮 警 報

鹿児島県水産技術開発センター

平成 17 年 7 月 31 日

八 代 海 No. 1

[1] 7月31日の東町漁協による調査結果

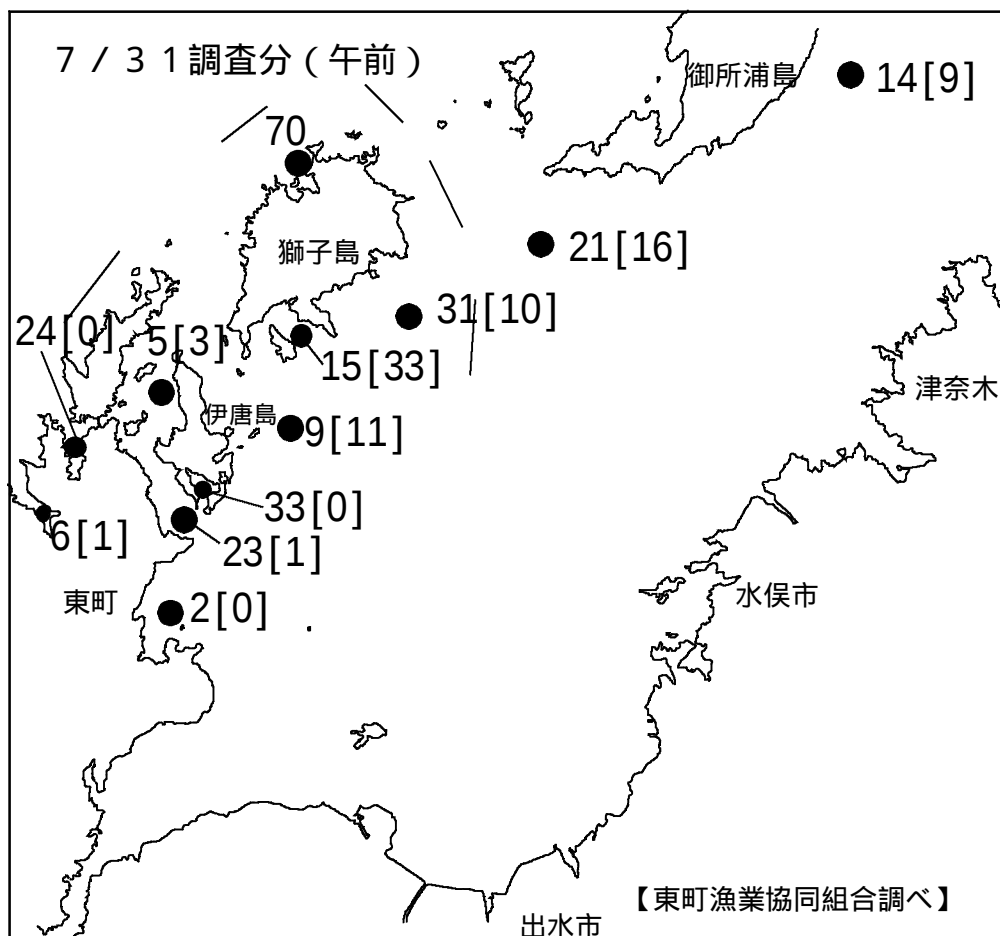
東町漁協による赤潮調査の結果、東町獅子島御所浦においてシャトネラ アンティーカが最高70cells/ml確認されました。

東町周辺海域では、ほとんどの海域でシャトネラ アンティーカが確認されており、一部の海域では、最低致死濃度30～50cells/mlを超える海域も確認されています。

[2] 今後の赤潮発生の予想

シャトネラ アンティーカの最適水温は23～26℃，最適塩分は30以下とされています。現在のところ、東町周辺の平均水温が24.8℃，塩分が31.9と、本種の最適水温にあります。また、ここ数日の降雨により、塩分濃度についてはさらに下がり、最適塩分である30以下になることが予想されます。よって、本種の最適水温・塩分が継続することが予想されますので、今後さらに細胞数が増加することが考えられます。

シャトネラ アンティーカは、着色しないような細胞数でへい死事例がありますので、出現海域付近の養殖場では、検鏡による細胞数の動向を把握（表層～中層）するとともに、海水の変色等、異常を感じたら直ちに餌止め等の対策が必要です。



シャトネラ アンティーカ細胞数 (cells/ml) [] 内は5m層

赤潮情報(携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>